

第29回 2016年度

人権啓発東京講座

【主催】 一般社団法人 部落解放・人権研究所

【後援】 部落解放同盟中央本部

公益社団法人 全国人権教育研究協議会

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議

東京人権啓発企業連絡会

東日本部落解放研究所

一般財団法人 松本治一郎記念会館

キャリア形成促進助成金について

この制度は、厚生労働省の制度で、企業内における労働者のキャリア形成の効果的な促進のため、目標が明確化された職業訓練の実施、職業能力開発休暇の付与、長期教育訓練休暇制度の導入、職業能力評価の実施またはキャリア・コンサルティングの機会の確保を行う事業主に対して助成する制度です。制度の詳細については、雇用・能力開発機構各都道府県センターにお問い合わせください。

ホームページ <http://www.mhlw.go.jp>

(厚生労働省・都道府県労働局)

講座内容

もしかして、あなたの人権感覚はズレてる？

21世紀は「人権の世紀」です。今一度、あなたの人権感覚をみがいてみませんか。

◎多様性あふれるテーマ、充実の講師陣！

様々な人権問題を取りあげている基礎講座です。各分野の第一線で活躍している総勢 23 名の人権スペシャリストたちの講義は、問題の基本を押さえつつ、最先端の話が聞ける貴重な経験です。

◎体験と交流をとおして、ゆたかな人権感覚を！

3カ所の現地学習（フィールドワーク）や体験学習（ワークショップ）、班ごとのふりかえり（グループディスカッション）等をおして問題意識を深め、ゆたかな人権感覚を目覚めさせます。

◎あなたも人権リーダーに！

講座修了後には、あなたの人権感覚は、きっと生まれ変わっていることでしょう。講座で学んだことを職場や暮らしの中で大いに役立ててください。

定員 50名（先着順）

受講料 150,000円 + 消費税

- 教材費、宿泊研修費を含みます。
- 現地学習および宿泊研修での交通費は含みません。

※聴講可能な講座もあります（受講料 3,500円 + 消費税）。詳しくは問合せ先 事務局までご連絡ください。

プログラム

	午前 9:30~11:30	午後1 12:40~14:40	午後2 15:00~17:00
第1日目 9月28日 (水)	開会式	【基調講演】 立憲主義と人権保障 小林 節	【医療事故】 うそをつかない医療 豊田郁子
第2日目 9月29日 (木)	【LGBT】 LGBT(性的マイノリティ)も働きやすい 職場とは？ 薬師美芳	【部落】 現代の部落問題 内田龍史	【在日問題】 ヘイト・スピーチって何？ 金 尚均
第3日目 10月4日 (火)	現地学習 講義・フィールドワーク(ハンセン病資料館と当事者の語り)		
第4日目 10月5日 (水)	【男性学】 男性学の視点から男性の働き方を考える 田中俊之	【企業経営と人権】 変化する内外情勢をふまえて 北口末広	【ホームレス】 「ホームレス」襲撃事件と子どもたち 北村年子
第5日目 10月12日 (水)	(移動)	宿泊研修 講義・フィールドワーク(長野)	
第6日目 10月13日 (木)	宿泊研修 講義・フィールドワーク(長野)	【見た目問題】 見た目の症状とともに自分らしく生きる 外川浩子	(移動)
第7日目 10月27日 (木)	【ジャーナリズム】 写真で伝える世界、東北の今 安田菜津紀	【メディアと人権】 SNS時代、今や貴方も発信者 下村健一	【環境】 環境問題の中に潜む人権問題 羽仁カンタ
第8日目 10月28日 (金)	【子どもの人権】 虐待や貧困から見える日本の子どもたちの 現状 森山誉恵	【過労死】 日本の働き方をかえる 中原のり子	【部落】 日常の中の部落差別 上川多実
第9日目 11月9日 (水)	【障害者】 障害者の雇用と差別 野沢和弘	ワークショップ 人権って何だろう？ ～「私」と「あなた」を起点に～ ファシリテーター:若柳 翼	
第10日目 11月10日 (木)	【部落】 部落に生まれて、部落に育つ 組坂繁之	現地学習 講義・フィールドワーク(東京)	
第11日目 11月29日 (火)	【ハラスメント】 職場のハラスメント問題を考える 内藤 忍	【HIV】 日本のHIV・エイズの「いま」 高久陽介	【薬害】 薬害が語る、社会正義のありようとは？ 増山ゆかり
第12日目 11月30日 (水)	【職場の人権研修】 職場を元気にする人権 竹内 良	人権研修プランづくり & プレゼン	【総括講演】 人権で世直し 奥田 均

※各日、講義終了後(17:00-17:30)にふりかえり(グループディスカッション)を行います。ふりかえりまで必ずご出席ください。

※第8日目(10月28日)および最終日(11月30日)は、講義終了後に懇親会を予定しております。

現地学習／宿泊研修



国立ハンセン病資料館

ハンセン病を知る

東京都東村山市の東北端にある国立療養所多磨全生園。隣接する国立ハンセン病資料館は、他に類を見ないほど充実した資料をもとに、ハンセン病に対する正しい知識の普及啓発による偏見・差別の解消と、患者・元患者のみなさんの名誉回復をめざしています。現地学習では、ハンセン病の歴史を学び、実態と向き合います。



産業・教育資料室 きねがわ

部落問題を知る 東京（現地学習）／長野（宿泊研修）

フィールドワーク（皮革なめし工場見学など）や当事者の語りから、部落差別の歴史と現状を学びます。現実を知り、正しい知識を得るとともに、偏見や差別のない社会づくりについて考察を深めます。協力：産業・教育資料室 きねがわ／部落解放同盟東京都連合会 墨田支部／人権センターながの

講師紹介



こばやし せつ
小林 節 慶應義塾大学名誉教授、弁護士

憲法は権力から国民を守るためにあります。人権を侵害しないよう国家権力を縛っているのです。しかし、現実はどうでしょうか。私たちにとって憲法とは何か、今こそ、一緒に考えましょう。



きむ きんぎゆん
金 尚均 龍谷大学法科大学院教授

ヘイト・スピーチとはなにか？ 名誉毀損・侮辱と何が違うのか？ どうしてヘイト・スピーチという英語を用いるのか？ 外国ではどのように規制されているのか？ これらの疑問を通じて、ヘイト・スピーチの「害悪」と「被害」の実態とその内容を知る。



とよたいくこ
豊田郁子 患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋理事長、新葛飾病院医療対話推進者

昨年10月、医療事故調査制度が施行され、日本の医療安全は新たなステージへと進みました。「うそをつかない」「情報を開示する」「ミスがあれば謝罪する」この三原則を病院の文化として根づかせ、患者と医療者のパートナーシップを作っていくことで、医療事故をめぐる苦しみを少しでも減らしていきたい。それが、医療事故で子どもを亡くした私の願いです。



たなかとしゆき
田中俊之 武蔵大学社会学部助教

日本の男性は、1日8時間週40時間は「最低限」で、それ以上に働くことが「当たり前」に求められています。「女性の活躍」が社会的な課題として浮上し、共働きが一般化する社会の中で、男性たちはどうやって仕事と家庭の両立をしていけば良いのでしょうか。固定観念にとらわれず、新しい男性の生き方を一緒に考えていきましょう。



やくしみか
薬師実芳 NPO法人 ReBit 代表理事

LGBT（性的マイノリティ）は日本人口の7.6%、約13人に1人とされています。職場における理解の有無は、やりがいや生産性に影響するという調査も。LGBTの社員にとっても働きやすい職場づくりのために今日から取り組めることをご紹介します。



きたくちすえひろ
北口未広 近畿大学人権問題研究所主任教授

人口変動や科学技術の進歩にともない社会が大きく変化し、人権問題をはじめとする社会的課題も大きく変動している。そうした中で社会的課題の解決に向けた企業の役割がますます高まっている。こうした視点で今後のビジネスと人権について考えていきたい。



うちたなりゅうし
内田龍史 尚絅学院大学総合人間科学部現代社会学科准教授


部落問題とはいったい何なのか。部落差別は今でもあるのか。各種のデータを示しながら、部落問題の全体像と現状をお伝えします。私たちは部落問題とどう向きあえばいいのか、一緒に考えましょう。



きたむらとしこ
北村年子 ノンフィクションライター、(一社)ホームレス問題の授業づくり全国ネット代表理事

「どうしてあんなところに人が寝ているの？」子どもの疑問にあなたはなんと答えますか？ 大人から植え付けられた偏見によって起こる「ホームレス」襲撃。大人は「ホームレス」とどのように向きあい、子どもたちに伝えればいいのか。疑問を丁寧に解きほぐします。


講師紹介



とかわひろこ
外川浩子

「見た目問題」解決 NPO 法人マイフェイス・マイスタイル代表


想像できますか。見た目が重視される現代社会の中で、生まれつきのアザ、事故や病気による傷、火傷、脱毛などの見た目の症状とともに自分らしくいきいきと生きている人たちがいることを。



やすだなつき
安田菜津紀

フォトジャーナリスト
(studio AFTERMODE 所属)


「シリア」と聞いて、何を思い浮かべますか。激しい戦闘、あふれだす難民。けれど、もともと「難民」だった人はいません。世界情勢から東日本大震災の被災地、陸前高田市まで、ファインダー越しに向き合ってきた人々の生きる姿を、みなさんと共有したいと思います。



しもむらけんいち
下村健一

慶應義塾大学特別招聘教授
(元 TBS 報道キャスター／内閣審議官)


SNS の発達で、今やあなた自身もメディアです。他人事ではありません。被害者、加害者、遺族、被差別者…の人権を守りつつ、過剰にビビって腫れ物に触れるような逆差別もせず、フラットな発信できますか？



はにかんた
羽仁カンタ

NPO 法人 iPledge 代表、アースディ東京理事


豊かな生活が大量生産、大量消費、大量破棄を産み、深刻な環境破壊を引き起こしています。しかし、消費の拡大はとどまることを知らず、そのしわ寄せは貧しい人たち（国）へと及んでいきます。健康で快適な生活をおくる権利は、すべての人類にあるのではないのでしょうか！？



もりやまなかえ
森山誉恵

NPO 法人 3keys 代表


1年間で日本で対応している児童虐待件数は約9万件。周りに相談できる人が誰もいない子どもは5人に1人。愛される環境、教育を受ける環境、悩みを打ち明ける環境、目標や夢を持てる環境などが保障されない子どもたちの存在と、その背景にある親や社会の現状について、考えてみませんか？



なかはらのりこ
中原のり子

全国過労死家族会東京代表


誰かが過労で悲鳴をあげても「私も大変だから」と見過ごし、「頑張ろう」の一言で問題を置き去りにしていませんか。「KAROSHI (過労死)」が国際語となって30年あまり。過労死をなくすためには、みなさんの理解と、国・自治体・企業の協力が必要です。



かみかたみ
上川多美

BURAKU HERITAGE メンバー


部落差別は昔の話？ 西日本の話？ 自分には関係のない世界のこと？ いやいや、実は身近なこともかもしれない、実は自分も加担しているかもしれない、そんな視点から、部落差別について考えてみませんか？



のさわかずひろ
野沢和弘

毎日新聞論説委員、内閣府障害者政策委員会委員


合理的配慮ってむずかしそう？ 障害者差別解消法ってこわそう？ それは誤解です。生きにくい世の中を根底からやさしくし、だれもが働きやすい職場にするためのものです。障害者だけ良くなったたり得たりするものではありません。



わかやなつばさ
若柳 翼

教育研修デザイナー、プロコーチ


このコマは、参加型研修の時間です。一方通行の講義ではなく、身体や頭を使って「人権」や「差別」を考えていきます。背伸びせず、自分ごととして人権を捉える機会を共に作りましょう。



くみさかしげゆき
組坂繁之

部落解放同盟中央本部執行委員長


福岡県の被差別部落に生まれ育ち、そのムラではじめての大学進学を果たす。海外移住を夢みたが果たせず、親友の自死等で自らの足でしっかりと生き抜く大切さを学ぶ。やがて、部落解放運動に入り、部落解放同盟中央本部執行委員長になったひとりの男のドキュメント。人間、組坂繁之を語る。



ないとうしの
内藤 忍

独立行政法人労働政策研究・研修機構
主任研究員


セクハラ、パワハラ、マタハラ、アカハラ、アルハラ…世の中はハラスメントであふれるようになってしまいました。何が法律違反で、何が倫理上いけないレベルのハラスメントなのでしょうか。一緒に考えましょう。



たかくようすけ
高久陽介

NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス代表理事


「HIV」「エイズ」と聞いて、どんな印象を持ちますか。なんとなく恐怖を感じた方、外国の話でしょ？と思った方は、必聴です。日本には、すでに2万5千人のHIV陽性者（感染が分かった人）が暮らしています。



ますやまゆかり
増山ゆかり

公益財団法人いしずえ（サリドマイド福祉センター）常任理事


サリドマイド薬害から50年が経ちましたが、その後もHIV、スモン、C型肝炎など、日本では薬害が繰り返されています。経済主導の社会構造が多発する薬害の背景にあると言われていますが、あなたは薬害について、いま何を知っていますか？



たけうちりょう
竹内 良

東京人権啓発企業連絡会専務理事

企業の行う人権研修は、成人研修であり企業人研修です。差別はいけないことと、みんな分かっています。この「分かっている」ことをもう一度考えたいのです。あ、そうか、と思わず膝打つ研修ってなんだろう、人権ってなんだろう。



おくだひとし
奥田 均

近畿大学人権問題研究所教授、
(一社) 部落解放・人権研究所代表理事

差別はいけないと思います。でもそうした問題がどうして私たちに関係しているのでしょうか。実は案外、深く関わっているのですよ……。

過去受講生を派遣された組織

IHI、あいおいニッセイ同和損害保険、あおぞら銀行、朝日生命保険、味の素、アメリカンホーム医療・損害保険、安藤・間、イオン、イオンモール、イトーヨーカ堂、イトキン、IMAGICA、EMGマーケティング、エクソンモービル、エーザイ、NEC、NECソリューションイノベーター、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア、NTTソルコ、NTTデータ、NTT都市開発、NTTドコモ、NTTビジネスアソシエ、NTTファシリティーズ、荏原製作所、大内新興化学工業、大林組、オムロン、オリエントコーポレーション、学研ホールディングス、学研プロダクツサポート、関西ペイント東京工場、関電工、関東電気保安協会、かんぽ生命保険、共栄火災海上保険、協同セミナー、清原住電、キリン、キリンホールディングス、近畿日本ツーリスト、クラシエ、栗田工業、群馬銀行、京成電鉄、京浜急行電鉄、原子燃料工業、航空電子ビジネスサポート、コスモ石油、コスモビジネスサポート、小林製薬東京支社、五洋建設、コロムビアミュージックエンタテインメント、佐川急便、佐藤工業、三菱、産業振興、資生堂、資生堂化粧品販売、清水建設、自治労、蛇の目ミシン工業、JXエネルギー、JFEスチール、商工組合中央金庫、商船三井、城北信用金庫、昭和大学、昭和電工、信越エンジニアリング、信越化学工業、新生銀行、ジンダイ、住友金属物流、住友信託銀行、住友生命保険、住友電気工業、住友電設、住友電装、星和ビジネスリンク、ソニー、ソフトバンク、損害保険ジャパン日本興亜、ダイア建設、第一生命保険、ダイエー、大京、大成建設、太平洋セメント、ダーバン、大同生命保険、ダイハツ工業、大和証券グループ本社、大和ハウス工業、中外製薬、帝国ホテル、電通、東海カーボン、東京海上日動火災保険、東京ガス、東京電力、東芝、東芝総合人材開発、東芝プラントシステム、トビー工業、トビー実業、飛鳥建設、ドン・キホーテ、日新火災海上保険、日新製糖、日清製粉グループ本社、日清紡ホールディングス、ニッセイ・リース、日本興亜損害保険、日本生命保険、日本電信電話、日本たばこ産業、日本電気協会、日本航空電子工業、日本山村硝子、ニュー・オータニ、農林中央金庫、ノザワ、野村證券、阪急電鉄、パレスホテル、東日本旅客鉄道、東日本電信電話、日立アプライアンス、日立化成、日立キャピタル、日立金属、日立建機、日立国際電気、日立システムズ、日立製作所、日立ソリューションズ、日立電線、日立オートモティブシステムズ、日立オムロンターミナルソリューションズ、日立電子サービス、日立ハイテクノロジーズ、日立パワーソリューションズ、日立ビルシステム、日立プラントテクノロジー、日立物流、日立マクセル、日立メディコ、富士火災海上保険、富士ゼロックス、富士通、富士電機、不動テトラ、マイカル、丸の内ホテル、マルハニチロ、丸紅、丸紅情報システムズ、みずほインベストメント証券、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井造船、三越伊勢丹ホールディングス、三菱化学、三菱地所、三菱地所レジデンス、三菱自動車工業、三菱製紙販売、三菱倉庫、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJニコス、三菱マテリアル、三菱UFJ信託銀行、メック・ヒューマンリソース、明治安田生命保険、持田製薬、山崎製パン、ゆうちょ銀行、雪印メグミルク、吉本興業、ラサ商事、リクルート、りそな銀行、レナウン、東京都、大田区、品川区、港区、目黒区、大分県大分市、千葉県佐倉市、千葉県松戸市、千葉県松戸市教育委員会、長野県御代田町、日本郵政グループ、練馬区社会福祉事業団、カトリック新聞社、カトリック中央協議会、浄土宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、神社本庁、世界救世教いづのめ教団、世界救世教主之光教団、全日本仏教会、曹洞宗、天台宗、天理教、東方之光、日本聖公会、本門佛立宗、立正佼成会、朝日新聞社、講談社、産業と経済、産経新聞社、時事通信社、集英社、小学館、星和ビジネスサポート、中央公論社、テレビ朝日、東京新聞、東京メトロポリタンテレビジョン、日本映画衛星放送、日本放送協会、日本放送出版協会、フジテレビジョン、双葉社、文藝春秋、ベネッセコーポレーション、ポニーキャニオン、マガジンハウス ※統廃合などによって掲載されていない組織もあります。

(順不同、2016年5月現在)

修了生の声

おぬま 小沼

(第 28 期生)

三井住友海上火災保険株式会社



全 12 日の受講を終えて…

入社 32 年目にして初めて人権担当の部門に異動となり、何もわからず大変不安なスタートでした。前任者から「東京講座の効果」は聞かされていたものの、正直「ついていけるか」と不安な気持ちの中での受講でした。

しかし講義が始まってみて、まずその分野の広さに圧倒され、同時に講師の皆様の熱意と素晴らしい講義内容に驚きました。いずれも具体事例を交え、あるいは当事者の立場から、大変わかりやすく、思わず引き込まれる講義ばかりで

心に響きました。また 3 回にわたるフィールドワークは、差別の現実を正しく知る上で大変貴重な機会となりました。

東京講座は限られた期間に集中して、仲間と共に様々な「人権」を深く考える大変貴重な機会です。今後の業務はもちろん自身の日常生活にも、講座を通して学んだ知識、経験、気づきを活かしていければと思います。これから受講される皆様にとっても本講座が有意義なものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。

だん 壇

(第 28 期生)

キリン株式会社



東京講座を修了して

2014 年 10 月人権担当になり、知識も経験もなかった私は、重圧でとても不安だったのを覚えています。そんな時、上司から、「東京講座を受講すれば大丈夫!」と背中を押されました。

様々な人権問題をとりあげている基礎講座では、各分野のスペシャリストから直接、受講でき、当事者の方たちから話が聞けるとても貴重な経験でした。また、フィールドワー

クでは、心痛む衝撃的なお話もありましたが、しっかり向き合う強さを感じました。そして、何より良かったのは、講座が進むにつれ、同期生メンバーとの振り返りや考え方などを話すことで、更に、心に留まる研修になったことだと思います。情報交換ができる同期生メンバーとの交流は現在も続いており、かけがえのない仲間が出来たことが私の財産です。

これからも講座で学んだことを職場や自分自身の生活の中で、役立てて行きたいと思っています。

せきね 関根

(第 28 期生)

丸紅株式会社



東京講座と愉快的仲間たち

おそらく今回参加を予定されている皆さまも、「人権は初めての世界、最初は分からないことだらけのはず、東京講座を経験すると、いろいろわかってくるよ」と、諸先輩方からのアドバイスをお聞きになられたのではないかと思います。個別の感想は、講座終了後の皆さまのご判断にお任せするとして、もう一つ大きな財産となったのが、ここで一緒に C 班 (昨年度は全部で 5 班の中のひとつ) の皆さまです。総勢 10 名、たまたま申し込み順のめぐり合わせでしたが、これも何かのご縁。一緒に学び、旅し、歩き、泊まり、

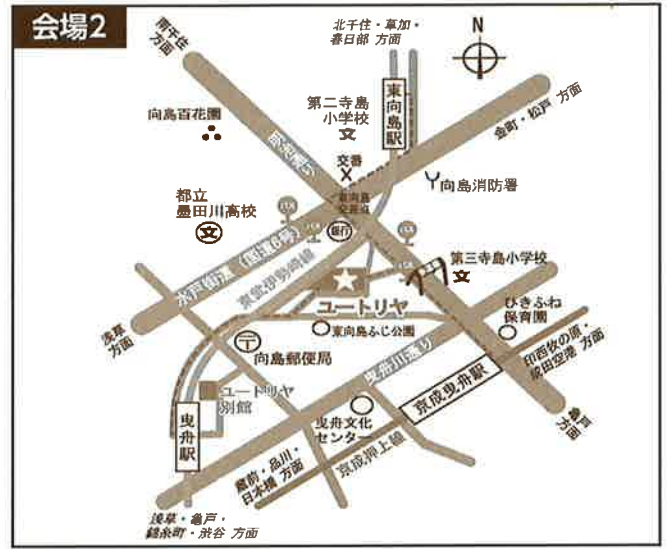
食し、飲み! 卒業後半年が経過した今も、情報交換という名の同窓会が継続しております。仲間のお二人が会社を卒業されましたが、それでもこの会だけは、という結束の固さ。

皆さまは、これからご自身が所属されるグループを飛び出し、いろいろな場でご活躍されることになると思いますが、そんな場面でも、ふと見回すとこの仲間たち! どこかでよりどころになること間違いなし。これからの 12 日間、真面目すぎて、睡眠学習になりそうな時 (そんなパートはないと思いますが) は、周りの皆さんをこっそり見回してみたいかがでしょうか?

申 込

- ◎申込方法 2016年9月16日(金)までに、下記の申込書に必要事項を記入し、部落解放・人権研究所啓発企画部「人権啓発東京講座事務局」まで郵送、FAXまたはメールにてお申し込みください。受講決定通知書と請求書を送付します。(定員になり次第、締切ります)
- ◎申込み・問合せ先 一般社団法人 部落解放・人権研究所 啓発企画部 人権啓発東京講座事務局
〒552-0001 大阪府大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F
TEL.06-6581-8576 FAX.06-6581-8540 E-mail tokyo@blhri.org
- ◎振込先 りそな銀行 桜川支店 普通預金 0487613 一般社団法人 部落解放・人権研究所
代表理事 奥田均(おくだ ひとし) ※受講料は2016年9月27日(火)までにお振り込みください。
- ◎講座期間 2016年9月28日(水)～11月30日(水)までの期間の12日間
受講生は原則として全講義を受講してください。
※8割以上の出席とふりかえりシートの提出が修了の要件です。あらかじめご了承ください。
※班ごとのふりかえりまで必ずご出席ください。

会 場



一般財団法人 松本治一郎記念会館

中央区入船 1-7-1 TEL.03-6280-3360
地下鉄日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」A2出口より徒歩3分
地下鉄有楽町線「新富町駅」7番出口より徒歩7分

ユートリヤ(すみだ生涯学習センター)本館

墨田区東向島 2-38-7 TEL.03-5247-2001
東武伊勢崎線、東武亀戸線「曳舟駅」より徒歩5分
京成押上線「京成曳舟駅」より徒歩5分
都バス「東向島小路(すみだ生涯学習センター前)」より徒歩1分

※会場は講義日程により異なります。詳細は事務局までお問合せください。

※車イスで参加される方や手話通訳等を必要とされる方など、受講にあたって支援が必要な方は、8月26日(金)までに事務局までお知らせください。

-----キリトリ線-----

受講申込書

フリガナ お名前		勤務先 部署名	
勤務先 所在地	〒 -	e-mail	
		TEL:	FAX:
受講関係 書類 送付先 (上記と異なる 場合のみ)	〒 -	e-mail	
		TEL:	FAX:

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。

※ふりかえりシートのフォーマット等をお送りいたしますので、**個人用(職場・自宅どちらでも可)のメールアドレスを必ず明記下さい。**